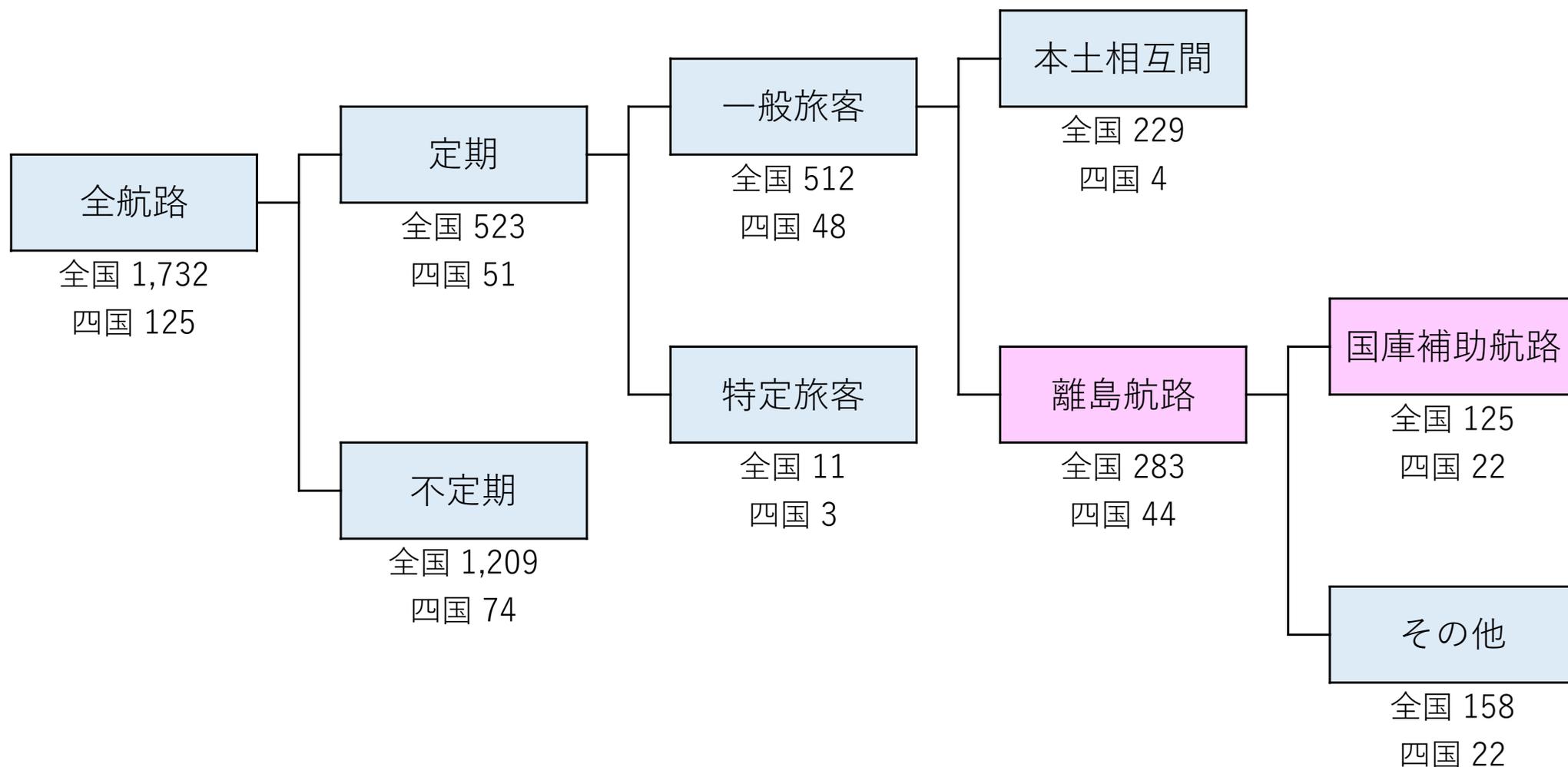


インバウンドの地方誘客や消費拡大 に向けた観光コンテンツ造成支援事業 について

四国運輸局海事振興部

■ 離島航路と呼ばれる航路は44航路

- ✓ 半数にあたる22航路が離島航路整備法に基づいた国庫補助航路として補助を受けながら、航路を維持



『地域公共交通確保維持改善事業』 R5予算額：207億円（R4予算額：207億円）
離島航路：70.5億円（R4予算額：70.5億円）

◇島民生活に必要な不可欠な離島航路の維持・確保を支援

○補助対象は唯一かつ赤字の航路

1. 離島航路運営費補助

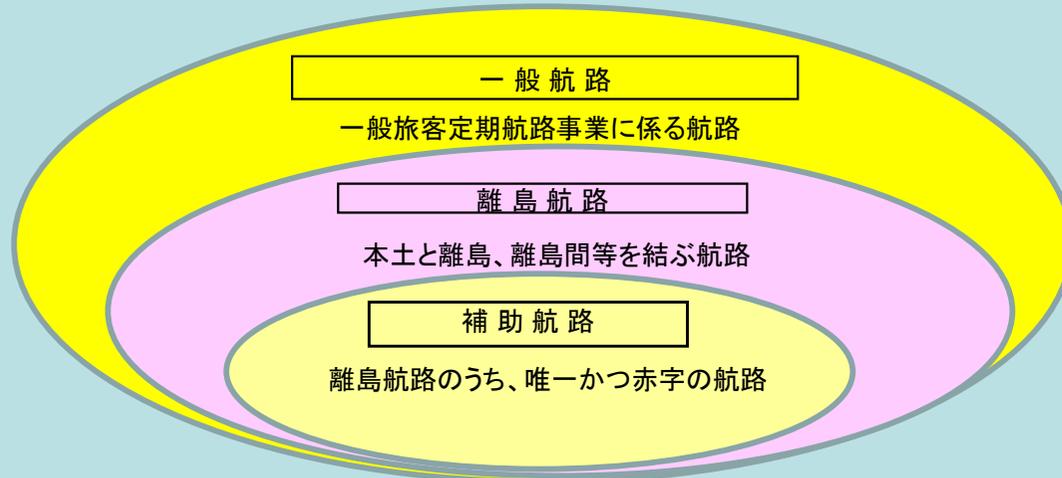
- ・欠損見込額全体に対する補助充足率は1/2

2. 離島住民運賃割引補助

- ・協議会の決定による離島住民運賃割引費用の1/2を支援(残り1/2は自治体等で負担)

3. 離島航路構造改革補助

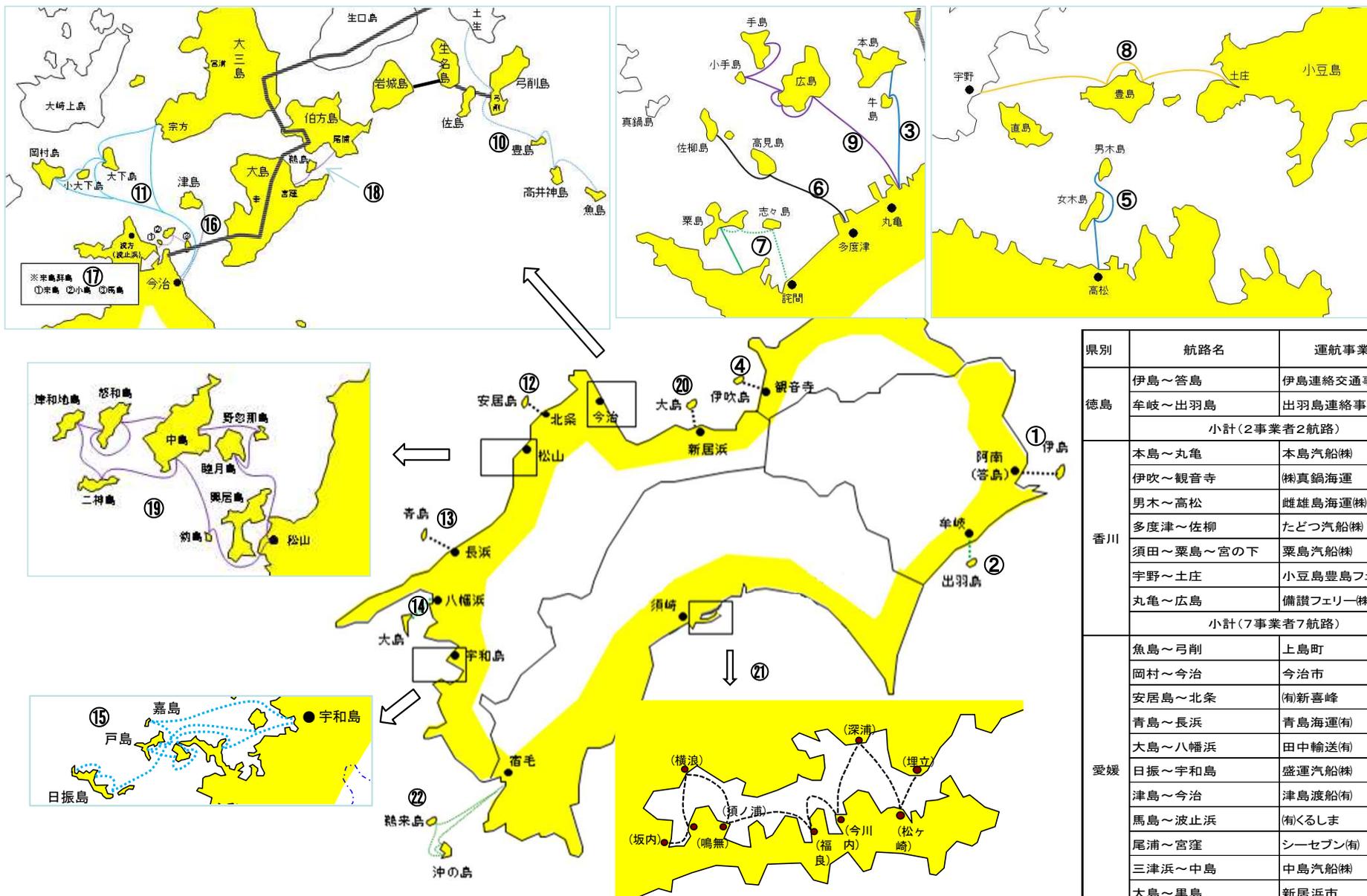
- ・公設民営化等による船舶の代替建造費用への支援



【離島航路に就航する船舶の例】



四国運輸局管内国庫補助航路一覽



県別	航路名	運航事業者	
徳島	伊島～答島	伊島連絡交通事業(有)	①
	牟岐～出羽島	出羽島連絡事業(有)	②
小計(2事業者2航路)			
香川	本島～丸亀	本島汽船株	③
	伊吹～観音寺	榊真鍋海運	④
	男木～高松	雌雄島海運株	⑤
	多度津～佐柳	たどつ汽船株	⑥
	須田～栗島～宮の下	栗島汽船株	⑦
	宇野～土庄	小豆島豊島フェリー(株)	⑧
	丸亀～広島	備讃フェリー(株)	⑨
小計(7事業者7航路)			
愛媛	魚島～弓削	上島町	⑩
	岡村～今治	今治市	⑪
	安居島～北条	(有)新喜峰	⑫
	青島～長浜	青島海運(有)	⑬
	大島～八幡浜	田中輸送(有)	⑭
	日振～宇和島	盛運汽船株	⑮
	津島～今治	津島渡船(有)	⑯
	馬島～波止浜	(有)くるしま	⑰
	尾浦～宮窪	シーセブン(有)	⑱
	三津浜～中島	中島汽船株	⑲
	大島～黒島	新居浜市	⑳
小計(11事業者11航路)			
高知	坂内～埋立	須崎市	㉑
	沖の島～片島	宿毛市	㉒
小計(2事業者2航路)			
合計	合計(22事業者22航路)		

※公募終了

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



令和4年度第2次補正予算：9,350百万円

- 本格的な再開が見込まれるインバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進するため、観光事業者が連携してインバウンド向けに地域に根差した観光資源を磨き上げる取組を支援する。

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた磨き上げ（イメージ）



- ✓ 「禅」をテーマとした体験型コンテンツ
- 訪日外国人が「禅」の精神を理解できるような思想の深掘り・ストーリー構築を実施



- ✓ 和紙制作の体験コンテンツ
- 和紙の歴史や工程の理解を促すコンテンツを多言語で整備するとともに、職人と訪日外国人の交流の機会を創出

補助対象者	地方公共団体、DMO、民間事業者（民間事業者においては、地方公共団体との連携が必須）
補助率・補助上限額	補助率：400万円まで定額（10/10）+400万を超える部分については1/2 補助上限額：1,250万円
補助対象経費	・旅行商品等の企画・開発費 ・モデルツアー実施費 ・国、地域毎のインバウンド促進に専門性を有する有識者等からの意見聴取に係る経費 等

あおい

「あおい」 空のテラスから見る明石海峡大橋



R4.5～進水

広い客室スペースを活かし、島を象徴するオリーブ・醬・石・棚田の4つをデザインモチーフに取り入れ、上質で遊び心のあるリゾート空間を実現

New

4/日 便



りつりん2



地域の課題

▶ 関西空港からの集客力不足

関西空港利用者 837万人 (2019年度)

→小豆島誘客に繋がっていない。

2025年の大阪万博、瀬戸内国際芸術祭に向けて新たな広域観光ルートの開発が急務に。

▶ 欧米豪インバウンドに響かない

島全体がオリーブを観光コンテンツの柱にしているためオリーブ発祥のインバウンドに響かず。

▶ 2次交通の脆弱さ

島内の移動手段の主軸が路線バス(1時間に1本)

課題に対する過去の取組

・2022年神戸ー小豆島間に新造船「あおい」投入

→個室化や団体対応の新しいコンセプト導入

・自転車愛好家の利用者促進

→自転車持ち込み可能な個室、サイクルピット整備

・多言語化の実施(HPリニューアル、予約システム)

・乗船券の事前購入、事前決済の導入

・キャッシュレス決済可能なセルフレジ、券売機の設置

→ インバウンド受入環境整備を整える。

・フェリー内にEバイクの貸出拠点を作ることで、2次交通の改善を図る。

・欧米豪や東アジアのインバウンドに向け、地域独自の文化や食を通じた島文化を伝える。

「瀬戸内海のクルージング」

+

「Eバイクでの島旅」

+

「島の文化・食文化」を

テーマとした商品の造成を後押し

事業概要

小豆島には、杉樽で仕込む醤油蔵、石の文化などストーリー性を好む欧米豪やアジアのインバウンドにもアピールできる魅力的なコンテンツが存在しているが、各地に点在しておりバスでは効率的に回ることが難しい。そこで、環境に優しくSDGsに資するレジャー手段として人気のある「高級スポーツEバイク」を活用し、島内のアクセス不便地に点在する観光スポットを繋ぐ新たな観光ルートを開発する。

造成したコンテンツ

コンテンツ1 「Eクロスバイク」のレンタル基地を設置、乗り方レクチャーを特別に船内で実施。

移動時間を特別な体験へと変え、時間ロスなくレンタサイクルの予約手配も一元化した「ワンストップサービス」の仕組み構築を行う。神戸から小豆島に着くやいなやストレスなく「Eクロスバイク」での島旅をスタートでき、これまで自身では簡単に行けなかった山岳霊場や棚田農作現場へも訪れることが可能となり、二次交通の課題解決も同時に担うことができる。

コンテンツ2 小豆島のSDGs体験ツアー

醤油桶の継承から、酒粕を使用した料理など、日本独特の食文化を体験してもらう。また、酒粕が苦手な外国人向けの食事メニュー開発も行う。

成果・今後の展開

▶ 事業自体は大変好評であり、あなぶきトラベルが販売に向けて動いているところである。

▶ 翌年度以降は、**更にコンテンツを磨き上げ、販売を促進していく。**

今回1泊2日で提供したが、2日連続だと負担が大きいという声が多かった。1日目はEバイク、2日目は寒霞溪など自転車を活用しない観光とセットにするなど検討していきたい。



しまなみ来島海峡遊覧船

航路(順不同)



日本三大急潮流のひとつ「来島海峡」の急流を体験できる遊覧船

観潮船からの眺め

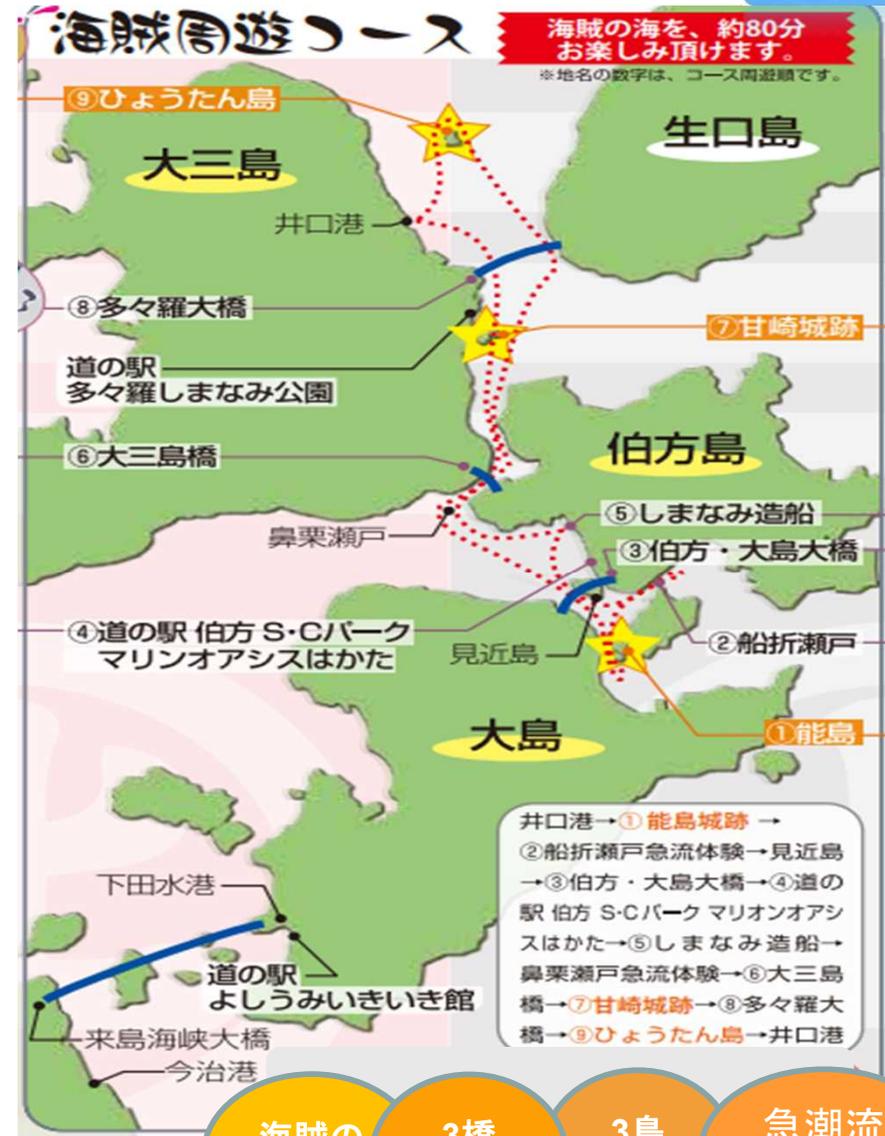
なかと



- ・瀬戸内の多島美の絶景
- ・来島海峡大橋を真下から見る貴重な体験(橋ぐり)
- ・日本一の海事都市今治の象徴である造船所群を湾内から見学できる。

しまなみ海賊クルーズ

日本海賊
村上海賊



海賊の
故郷

3橋
めぐり

3島
めぐり

急潮流
体験

地域の課題

▶ 訪日外国人に対する言語対応の不足

- ・観光情報の多くが日本語チラシのみ
- ・通訳者も満足に常駐していない
- ・道の駅等休憩施設には案内板なし
- ポータブル翻訳機の活用が必須

▶ 訪日外国人へのWeb等のコンテンツ不足

- ・観光案内できる専用のパソコン等もなく、案内時には言語のみの説明になっている。
- ・刺激的な情報が少なく現在の素材を使用している集客は他社との差別化には乏しい。

課題に対する過去の取組

訪日外国人の観潮船ツアー乗船時に、通訳者未乗船の場合は、翻訳されたパンフレットを配布し説明（言語は英語と中国語）

事業概要

訪日観光客向けに当地の魅力を伝えるツアーを企画造成する。

- ① 自転車をレンタルし、今治港へ移動
- ② 今治港より自転車も一緒に船に積載し島しょ部へ移動
- ③ 急流観潮船ツアー、ツアー後は村上海賊も好んだBBQスタイルで食事
- ④ 宿泊地の大島を目指して約20kmをサイクリング
- ⑤ 宿泊場所は古民家を改装したホステルを利用、島で生活している感覚を味わうことができる

造成したコンテンツ

① HPの多言語化（台湾語・中国語）

訪日客にもしまなみ海道やそれに関連するツアーを紹介。

② デジタルパンフレットの制作

③ プロモーションビデオの作成

しまなみの魅力を陸・海・空から感じることができるプロモーションビデオを制作。

④ 道の駅での満足度の高い案内

訪日外国人が来店時にはポケット型翻訳機を使用しスムーズな案内ができるよう対応。

⑤ 自然の体感

島しょ部の景色をサイクリングで感じながら島々の柑橘畑を訪問できる多言語使用のモバイル型ガイドブックの構築。

⑥ 二次元QRコードを活用したイラストマップの構築

モバイル型イラストガイドブックの観光ポイント15か所にQRコードを置き、その地点で読み取ると自分の位置がマッピングされる。

⑦ 一棟貸し古民家に宿泊

古民家に宿泊することでしまなみの島しょ部の魅力を衣食の方向から感じることができる。

成果・今後の展開

- ▶ HP多言化。しまなみエリアの周遊MAPIに関しては、作成済み。今後HPIにも取り込む予定。
- ▶ インバウンド向けしまなみ海道PVは、完成しており、順次 HP、SNS、旅行会社、観光局等に配信・配布予定。
- ▶ ワークーションコンテンツに関してはモニターツアーを実施し、実施後のアンケート結果は概ね良好。改善点をブラッシュアップして4月1日～販売開始予定。販売ツールとしては地域やインバウンドコミュニティなどをネット上に作り、その中のネットワークを使って販売予定。

